

横浜防災フェア2024参加報告

港北区支部



開催日：令和6年9月7(土)、8日(日) ※各日共に1030～1700

場 所：横浜赤レンガパークイベント広場

当日の天候：晴、一時曇り、気温は終始高温

ブース出展の3つの柱

多くの来訪者との触れあい、
様々な経験機会を目指して



活動の紹介・PR



通信・モールス体験



クラブ局移動運用



各区支部員・一般局と約130局と交信



参加支部員個々による振り返り

総括項目	主な総括内容	改善策等
○ 実施体制	港北区支部、本部理事、各区支部からの随時応援者が参集しマンパワーは十分に確保できた。 港北区支部員の当日の役割（業務PR・体験・移動・渉外）を明確にすべきだった。 参加支部員への交通費、軽食費をどうにかでき負担を軽減できた。	←今後も継続。応援予定者は可能な限り把握し共有。 ←各自の役割、対応時間等をより明確にし、メンタル面の負荷を軽減。 ←区外での活動には支部経費を今後も有効に活用。
○ ブースの設営及び運営	屋外テントであり、雨風の影響をもっと想定し対策すべきであった。 8月下旬、9月上旬の猛暑対策をもっと意識すべきであった。 テントサイズ（大スペースw5400×h3600）、椅子15、テーブル8、 スポットクーラー1基は十分な数量であった。	←電気機器の保全、パネル類の飛散防止をさらに強化。 ←冷飲料の常備、暑さ対策品の活用、頻繁な担当者交代。 ←次回以降もこの数量を維持。
○ 訪問者への対応	災害時のアマ無線の効果、拠点訓練の様子をさらに詳しく伝えることが望ましい。 ブースとして興味を引きつける工夫が欲しい。 来訪者の把握がやや曖昧となっていた。	←PRパネルの内容向上、訓練時の様子の動画展示。 ←試着するベストのような物を用意し記念写真サービス等を検討。 ←来訪者名簿を工夫。
○ クラブ局の運用	昨夏の総合防災訓練と同様に市内各区支部との交信は親睦の深化として効果的。 不特定多数との交信においても防災フェア参加中であることをある程度伝えることができた。 （QSLカードに活動概要、メンバー募集を印字できたことも進歩であった。） 無線の運用を見てもらい、知ってもらうことへの工夫が十分では無かった。	←今後も新たな手法を工夫し継続。 ←オペレーターの前にフェアの概要を置くなどさらに工夫。 ←今後もQSLカードデータ面下部に活動概要、会員募集を簡記。 ←ブースを覗く人が無線通信を意識できる工夫を増やす。 （スピーカーの置き方、ログをつける様子がわかる配置など）
○ 次年度への引継ぎ	今年度防災訓練担当支部、次年度防災フェア担当支部の参加もあり、今回のメリット・ディメリットをある程度共有できたことは良かった。	←PR看板のデータ、体験コーナーの用品など横浜市非通協として共有できる体制が必要。

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 五木田寛会長総評

2日間にわたって行われた「横浜防災フェア2024」では、担当の港北区支部、次回担当の緑区支部をはじめ多くの支部長と支部員の方のご支援を受けて成功裡に無事完了を致しました。

ご支援を頂き「協力会」を大いに盛り上げて頂きました関係各位にはご協力に関しまして熱く御礼を申し上げます。

私は防災フェアに神奈川区支部が担当した2014年から毎年参加をしておりますが、回を重ねる程に、その経験を生かして展示内容の変化が見られています。

最近の主な傾向は、

(1) 「アマチュア無線の公開運用」

(2) 「主に最近の子供に人気の有る体験型モールス練習機」

の展示が定着して沢山の来場者の興味を引いております。特に今回のキャッチフレーズ「モール信号を打ってみよう」の体験型モールス練習では目を輝かしている子供が多数見受けられ子供が子供を呼び沢山のお子さんが集まって多いに盛り上がりました。この傾向は今後も続くと思われます。

この度の「横浜防災フェア2024」には、各区支部の多くの方々に現場のブースで、また、当支部のクラブ局との交信を通じて、多大なご協力、ご支援をいただきました。皆様の支援により猛暑の中での2日間の活動中、事故、怪我等のトラブルなくどうか所期の目的を達成できたものと振り返っております。有難うございました。

横浜市アマチュア無線非常通信協力会港北区支部一同